



草の根

第42回

No 11

新日本婦人の会 浜松支部
〒430-0907
浜松市中区上島3-33-6
TEL&fax 464-9881

**声をあげ、生きづらい社会を変える！安倍9条改憲ストップ、
ジェンダー平等と持続可能な世界を創立60年へ新婦人大きく**

鴨江児童公園と地域周辺に仲間づくりポスティング行動をしました!!

3月27日(土)鴨江児童公園(どんぶらこ公園)に7人が集合。公園で遊んでいる子ども連れのお母さん、お父さんにしんぶんの宣伝紙を手渡しする組と、周辺のポストイン組に分かれました。土、日大型の遊具があるこの公園は多くの親子連れでにぎわっていると聞いています。ですが、朝の10時の公園はまだ早いのか、遊んでいる人たちは数組。まず、ベンチで子どもとおにぎりを食べているお母さんに声をかけました。断られずに受け取っていただきひと安心。入り口で渡していると「荷物になるから」「大丈夫です」となかなか受け取って貰えません。途中でくじ班の会員さんがお孫さん連れで応援に来てくれて、お孫さんを遊ばせながら配布を手伝ったく

れ、1時間弱でやっと5人の方に渡すことが出来ました。周辺に入った人たちが戻り、みんなで集合写真をパチリ。

帰りながら今日ポスティングした元読者宅により、感想を聴き「又読んでみませんか」と声をかけ1部増やすことが出来ました。「この行動の中で増えて良かった!!」と帰路につきました。



2021年3-8国際女性デー浜松集会

「税暴力被害～心に寄り添い、共に前へ～」を取り組んで

母親&働く女性部 伊熊真理子

長い歴史の中で闇に葬られてきた性暴力被害。勇気あるひとことが「ミーToo!」「フラワーデモ」につながり、ジェンダー後進国日本でも、刑法見直し議論が出できた。

今年の集会はジェンダー学習として、地元浜松の自衛隊で発生した性暴力被害の裁判につき、弁護を担当された栗田先生からお話を伺った。赤裸裸な裁判の内容にとまどいつつ、当初被害女性の言動が理解できなかったが、それこそが加害者から受け続ける脅し・洗脳で心身ともズタズタになる性暴力のむごい結果である事を知った。幸い、力強い信頼と支援を得たこの女性は、最高裁まで戦い希望の道を歩き出した。

彼女の心に寄り添い続けた先生の言葉「偏見を捨て話を聴く。

ありのままの本人を受け入れて」「自分の人生をあきらめない。取り戻す方法を共に探そう。」ジェンダー平等の根っこは、人へのやさしさと希望・粘り強い行動なのだ」と学ばせていただいた。



スーパーシティ学習会に参加して

のぎく班 渡辺登自子

「浜松市のスーパーシティについて」を読みま

した。すっかり錆び付いた私の頭では読解できませんでした。英和辞典を片手に読んでもピンと来ません。「デジタル」と「アナログ」すらはっきりと理解できていません。



理解しやすく細かく説明していただきたいと思い参加しました。日本の未来を担う子どもたちの成長を見守り、安心、安全な街づくり考える、これを行政の方々と一緒に考え、つくっていただけたらと願っています。それには時間をかけることが大事だと思います。

4月の仲間づくりポスティング行動のお知らせ

4月は和合北公園と周辺住宅にポスティングをします。ぜひ皆さんご参加ください。

☆ 4月17日(土)

☆ 和合北公園と周辺住宅

☆ 10:00～



これからの予定

- ・4/17(土)ポスティング行動 10:00～ 和合北公園
- ・4/19(金)総がかり行動 18:00～ 浜松駅前
- ・4/22(木)スズキの補助金裁判 14:00～ 静岡地裁
- ・4/24(水)消費税行動 13:00～ 遠鉄新浜松駅
- ・5/1(土)第92回メーデー 9:30～
浜松城公園・中央芝生広場



班会&小組活動あれこれ

各ブロックから班の様子・班会の様子・会員の思いや作品を紹介します。

あざれあ班

青野多恵子

今年の桜の開花は全国的にも早く佐鳴湖公園の桜も3/15にはもう咲き始めていました。

いつもの春なら、お花見弁当をみんなで作って佐鳴湖公園に行こう!!となりましたが、去年からは自粛で、出来なくなってしまいました。政府の無策にイライラするばかりです。

そんな中ですが、あざれあ班では手洗い、消毒、マスクと、注意しながら小組活動と班会を継続しています。毎月2回の絵手紙&一閑張りは佐鳴台協働センターで黙々と!!実施。困ったのは、薬膳教室です。でも、12月はキムチ作り、今年1月は味噌作りと、密にならないよう一人ひとり別々にできる季節の仕事に取り組みました。仲間と顔を合わせることでほっとできます。班会時のおしゃべりはマスク着用を物ともせず、いろいろな話題で盛り上がる。そんなおしゃべりが出来る事がストレス発散、けっして“不要不急”なことではないと再確認しています。

最近、佐鳴台協働センター発行の地域活動団体紹介ブックが完成し「新日本婦人の会あざれあ班・絵手紙小組」が掲載されました。佐鳴台地域の方が入会して下さるといいな!と思っています。

はまべ班

車田敦子

はまべ班の地域は新津・篠原地区で班会はほぼ2ヶ月毎に開いていますが、仕事や体調の都合で全員が揃うのはなかなか難しいです。

着付け小組は月1回会員宅で行っています。おけいこの後はお茶タイムで、楽しくおしゃべりしています。2月の班会は折しも森発言のあとでしたので、女性蔑視、時代錯誤も甚だしいとばかりみんなで怒りました。そこで一句。こんな川柳も飛び出しました。「わきまえない女が変えるこの国を!!」差別や女性蔑視は絶対許さないの思いを広げつなげなければと強く感じました。



なぜ、おたまじゃくしの名になったの?

おたまじゃくし班 鈴木美紀子

班の紹介をと原稿の依頼を受けた時、私の脳裏に浮かんだのは「どうして、おたまじゃくしの名になったのかな?」という素朴な疑問でした。班設立時の方たちに聞いてみました。「えっ!なんでだっけ。アッハッハ」と同じ反応。ならば、勝手に想像してみよう...オタマジャクシはカエルになる。カエルは目玉をキョロキョロさせ跳ねる。いろいろのことに興味を持ち、いろいろのことに挑戦する元気で楽しい班にしようとの思いがあったのではと私は考えたのであります。

今、なかなか班会が開けていないのですが、開けた時にはこの話題を出してみましよう。いやいやカエルなのか...。ただ言えることは、どちらの状態でも心が通じ合い安心できる仲間であるということです。

第92回メーデーのお知らせ

働くものの団結で生活と権利を守り、
平和と民主主義、中立の日本をめざそう!

- ☆ 日時 5月1日(土)(雨天決行)
 - ・オープニング 9時30分
 - ・メーデー集会 10時から

☆ 会場 浜松城公園・中央芝生広場
※今年はパレードは行いません

新婦人もプラカードコンクールに参加します。
要求掲げて芝生公園に集いましょう。
皆さん!会場にお集まりくださ~い。

しまの花だより

すみれ班 近藤しま

今年は花の早い春ですね。庭を眺めながらの朝食。白ヤマブキが咲きそう。つつじも色がついたと、気もそぞろに。ムスカリ、フリーズア、アネモネ、原種チューリップ...

娘から「花の方が大事にされている」とひがまれたというエピソードがあり少々反省です。今が盛りの「紫花菜」は敬愛する木俣貞子さま方のうら口に毎年咲いていたと、はるか50年も昔の思い出が私を支えてくれている。庭のすべての花には「モノ語り」がある